

ホーム > 市民レポーター > 東久留米駅北口駅舎よ、今までどうもありがとう・・・

東久留米駅北口駅舎よ、今までどうもありがとう

8月1日、東久留米北口駅舎のさよならイベントが開催されました。

この北口は、大正4年（1915年）にできたとのこと、歴史が深く、市民の生活に根つき、こよなく愛された駅舎でございます。

オープン以来、雨の降る日も、風の吹く日も、雪の降る夜も、いつも私たち市民と一緒に過ごした北口駅舎・・・思えば私の小さな頃、この改札から入って電車に乗ってワクワクしながらお出かけした、高校時代はこの改札から定期券を見せて学校に通ったものだ、初デートの待ち合わせ、慣れないお洒落をしてここから電車に乗ったものだった、久留米自動車教習所に通っていた時、失敗ばかりで思うように教習がすすまず、この駅舎の前で悔し涙を流した・・・などなど、この北口駅舎を見ると、「レモン味のような私の青春の思い出」が昨日のこのように蘇ってきます・・・

そんなノスタルジックな思いを胸に、いざイベント会場へ・・・とてもとても賑わっていました！！



東久留米北口は、『時間限定』で駅の看板が張り替えられました。まるでシンデレラみたいにロマンティックですね・・・

看板が変わる瞬間を見たい人で駅前は超満員、すごい人・人・人で、もみくちゃです！！ やつとの思いで一枚パチリ！！

屋台の売り子さんたちも元気いっぱいです。 「とうもろこし いかがですか？」

その駅の名前は「時計坂駅」 マンガ「めぞん一刻」の中で登場している幻の駅の名前です。

あ！！北口Tシャツを着ている人発見！！

思わずいい香りに吸い寄せられながら記念写真パチリ！！



門前商友会の天狗神輿も活気にあふれてかっこイイですよ！！

みなさん北口駅舎がなくなってしまうことが寂しいのですね・・・

なお、北口の駅舎は解体されますが、平成21年春より、商業施設兼通路の建設が開始されており、22年春には新しく東口改札につながる通路としてオープン予定。北口じたいは存続するとのこと。

太鼓の音やみなさんの掛け声が胸に響きます・・・

惜しまれながら間もなく解体されるすなわち北口駅舎感謝の意をこめて・・・

今まで本当にありがとうございました。

今後の北口も、みなさん今までと変わらず、足をお運びくださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます！！

猫の宮(=^.. ^=) 記